

長崎被災協・二世の会 ニュース

No. 9
発行日 2014年
11月17日



長崎市岡町8-20被災協気付
☎ 095-844-0958
長崎被災協・被爆二世の会・長崎

8月8日・長崎市「平和の灯」、今年も二世の会から参加

平和祈念式典前日、毎年平和公園で行われている「平和の灯」に、今年も「長崎被災協・被爆二世の会・長崎」で平和のキャンドルを作成し参加しました。

このキャンドルは、昨年から「写真パネル展」に来てくれた子どもたちに平和の思いを込めて、絵を描いてもらっています。

平和の泉付近から松山側入口にかけての階段にたくさんのキャンドルが灯り、とても幻想的できれいでした。(佐藤直子)



8月9日「長崎市原爆犠牲者追悼平和祈念式典」に参列

原爆投下から69年を迎えた8月9日、例年通り式典に参列する前に爆心地公園落下中心碑前に集まり、二世の会長崎、諫早合同での「献花式」を行いました。(参加者：11名) 今回の平和祈念式典は、台風により当日朝まで実施されるのかわかりませんでした。強風が吹く中、雨にあうこともなく大型テント設置なしでの開催となりました。式典では、副会長の高森ひとみさんが被爆者遺族代表として献花を行いました。(佐藤直子)



「今年は遺族代表として献花をさせて頂きました。

8才で被爆した母はあの悲惨な日を思い出したくない、と未だ祈念式典には参加する事ができません。

そんな母の思いも胸に、亡くなられた被爆者様のご冥福をお祈りすると共に、私は核兵器保有を絶対に許してはいけないと胸中で叫び、改めて私達二世が被爆者の思いをしっかりと、受け止め非人道的で悲惨な被害を受けた広島、長崎を二度と作ってはいけなく！と後世に継承していく事を誓いました。(高森ひとみ)

二世健診を積極的に受診し、二世健診の充実を求めていきましょう！

8月15日「不戦の集い」に参加

8月15日（金）10：30 から爆心地公園そばの不戦の碑の前で行われた「不戦の集い」に参加しました。（参加者：佐藤家4名）どしゃ降りの雨と雷が鳴る中、大勢の被爆者や二世・三世、そしてそれを上回るくらいの大勢のマスコミの方が参加し、黙とうや献花を行いました。

あまりにも雨がひどく、式次第もカットして30分ほどで終わりました。そんな悪天候にも負けないほどお元気で力強い被爆者の方々の発言に感動しました。

次回の不戦の集いは、第二次世界大戦開戦日の12月8日（月）17：30からです。ぜひたくさんの方の参加をお願いします。（佐藤直子）



日本被団協・米国遊説代表でワシントン DC へ

8月4日から11日まで米国ワシントン DC へ日本被団協の遊説代表として広島市の被爆者、箕牧智之さんと長崎の二世の柿田富美枝が参加しました。

8月5日19時15分（日本の8月6日8時15分）、ワシントン DC のキング牧師像の前での広島原爆追悼集会に50名参加し、手をつなぎ輪になって、原爆で亡くなられた方々への黙とうを行いました。箕牧さんとともに証言を行い、参加者は熱心に耳を傾けました。

長崎原爆追悼集会は8月8日22時2分（日本の8月9日11時2分）、ホワイトハウス前で20名が参加して行われました。夜遅い時間にもかかわらず参加して下さった方々に、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

また大学や教会などの集会では、持参した画像をスクリーンに上映し、証言を行いました。アメリカン大学国際関係学部では学生たちが集会を運営し、学長が挨拶に立ち、私たちを歓迎してくれました。若い人たちの行動力はたいへん頼もしく感じられました。

松井・広島市長、田上・長崎市長のメッセージを預かって行きましたが、それぞれの集会の中で披露され、現地の平和団体や集会参加者への大きな励ましとなりました。

集会で多く出された質問は「福島は今どうなっているのか」「原発は再稼働しているのか」「日本では原発に反対する勢力があるのか」、福島原発事故への関心は高く、日本人としての責任を感じました。

そして「被爆者の高齢化と被爆二世」「二世の組織化」「二世は何を願うのか」などの質問に、被爆者を支え継承して欲しいという被爆二世への期待が感じられ、また来年も被爆者と一緒に二世に来てほしいと言われました。米国の平和団体、市民の皆さんに暖かい歓迎を受け、核兵器廃絶を願う心は世界でつながっていることを実感しました。今回、私は母の被爆体験と山口仙二さん、谷口稜暉さんの被爆体験、被爆二世としての思い、核兵器廃絶を訴えました。英語のスピーチで思いを伝えたことも私にとって良い経験となりました。（柿田富美枝）

9月27日、28日「平和音楽フェス～愛と平和の聖地より～」



9月27日（土）、28日（日）の両日被災協地下講堂では初めての音楽イベント「平和音楽フェス～愛と平和の聖地より～」が開催されました。二日間合わせて300名を超えるお客様をお迎えして、大盛況のうちに終わることができました。今回のイベントは来年、被爆70年のプレイベントとして実

施し、チケットの収益については70年記念事業にあてられます。出演者の方々には、それぞれが思う平和のメッセージを歌とお話で頂き、出演者も会場の皆さんも《 世界平和 》への思いで一体となりました！改めて、音楽の力を感じさせられたイベントとなりました。また、今回、被爆三世の千草哲平さん出演者として協力してもらい、これから次世代への継承の光が射したイベントとなりました。（岡本宏幸）



★意義のあるイベントに参加させて頂き、貴重な体験ができました。今後に繋げていきたいと思います。（川久保繁）

★二世の会の皆さんと音楽フェスから関わらせてもらって本当に良い経験させて頂きました。今後は、下の世代の人達にも平和活動に興味関心を持って貰えるように頑張ります。（千草哲平）

10月7日「長崎市被爆70年記念事業選定審査会」に

10月7日（火）被爆70年記念事業選定審査会へ、佐藤会長、佐藤澄人さん、岡本の3人でプレゼンを行いました。長崎市が100万円以内を5団体へ補助する事業の審査で、佐藤会長が中心となって推敲した原稿で会長が説明し、質問には3名で答えました。こちらの意気込みと熱意は十分伝わったと思われます。原爆資料館ホールで来年8月2日（土）被爆70年集会を行います。より有意義な内容にするためアイデアを持ち寄り検討していきますので、ぜひご協力ください。（岡本宏幸）

10月18日長崎被災協・集会「被爆者の願い、国へ世界へ」

日本被団協の「被爆者の基本要請」策定30年を記念し、長崎被災協で学習集会が行われました。山田事務局長が基本要請について、長崎大学 RECNA 准教授の中村桂子氏が世界の核兵器廃絶運動の展望について講演しました。

オープニング、エンディングは岡本さん、川久保さん、千草さんの3人による歌と演奏で盛り上げました。二世の会が受付や機器操作などサポートし、被爆者にたいへん喜ばれました。

10月25日「長崎市民大行進」

10月25日（土）10時から行われた市民大行進に、長崎被災協と二世の会で参加しました。（参加者：佐藤親子、佐藤澄人、堀、被災協4名）



参加団体がそれぞれの旗を掲げ、市長を先頭に平和公園を出発し、国道コースと天主堂コースに分かれ、爆心地公園まで行進しました。晴天に恵まれ、短い距離でしたが、じりじりと照りつける太陽の下、汗をかきながら行進しました。爆心地公園到着後、集会を行い、解散。ほとんどの参加者が、そのまま原爆資料館前広場で行われていた「市民のつどい」に参加していました。

外国船が着いていたらしく外国人観光客も交じって国際色豊かでとても賑やかでした。（佐藤直子）

がんばらんば国体、がんばらんば大会のボランティアで活躍！

会員の方々の中にも、さまざまなボランティア活動や今年の国体、大会のサポートをされた方がおられると思います。会員2名を紹介します。

大越富子さんは卓球の審判員として「がんばらんば国体」、「がんばらんば大会」で目が不自由な人たちの試合の審判を行いました。障がい者競技の審判は目と耳を鍛えることが大切なため2年半前から実際に試合を見て、仲間たちと審判の練習を積み重ねてきたそうです。

石川義子さんは「がんばらんば大会」で水泳会場の手話通訳ボランティアを行いました。「選手の方々の明るさ、一生懸命さ、パワーに圧倒されました。受付に座っていると皆が手話で『お疲れ様』としてくれ、手話がろう者だけのものではないと実感し、嬉しく思いました。」とのこと。ほんとうにお疲れさまでした！

☆☆☆今後の行事予定☆☆☆

◎第6回二世会議 12/13(土)15:30~17:00 被災協地下講堂 被爆70年集会について

◎「望年会」12/13(土)17:30~19:30 来年を希望の年に！！ 鳥現(浜口町食彩館そば)で
会費 4,000円です。参加できる方は二世の会まで電話、FAX、メールなどで連絡ください。

◎第3回被爆二世九州学習交流会 1月31日(土)福岡に九州各県の二世が集まります。
横山照子さん(日本被団協中央相談所委員)を講師に被爆者相談活動等の学習も行われます。

◎第7回二世会議 1/18(日)、第8回二世会議 2/14(土)、第9回二世会議 3/15(日)
いずれも10:00~12:30 被災協地下講堂

◎3月28日(土)、29日(日)10:00~16:00 原爆写真パネル展 被災協2階会議室
原爆詩の朗読やコンサートも行います。都合がつかれましたら、30分でも、ぜひおいでください。